

Dokumental Safety Data Sheet (和訳版)

セクション 1 : 物質/混合物、企業/事業の確認

1.1 製品識別

- ・ 製品名 : 5-41-B パープル
- ・ 登録番号 : 本インクの成分は、規制 (1907/2006/EC) の基準範囲に適合。

1.2 本物質、混合物の関連する認識された使用及び推奨されていない使用

現時点でそうした使用法は、確認されていない。

- ・ 本物質/混合物の使用法は、サージカルマーカー用インク。

セクション 2 : 危険確認

2.1 本物質、混合物の分類

- ・ EC 規制 (No. 1272/2008) による分類

GHS09 環境

慢性的水性 2 H411 長期的影響で水生生物に有害

2.2 ラベル要素

- ・ EC 規制 (No. 1272/2008) によりラベリング
品目は、CLP 規制によって分類、ラベリングされる。
- ・ 危険記号表示 GHS09
- ・ 信号語 なし
- ・ 危険声明
H411 長期に継続する効果で水生生物に有害。
- ・ 使用上の注意
P273 環境への拡散を避ける。
P391 漏出の回収
P501 現場/地域/国/世界の規制に従った内容物/容器の処分

2.3 その他の危険

- ・ PBT と vPvB 評価の結果
- ・ PBT : 適用外
- ・ vPvB : 適用外

セクション 3 : 成分構成/情報

3.2 化学的特性 : 混合物

- ・ 品目 : 下記記載の成分と危険性の無い添加物との混合。

危険構成品		
CAS: 67-63-0 EINECS: 200-661-7 Reg. nr. : 01-2119457558-25	Propan-2-ol Flam. Liq. 2, H225; Eye Irrit. 2, H319; STOT SE 3, H336	2.5-10%
CAS: 2390-59-2 EINECS: 219-231-5	C.I. Basic Violet 4 Aquatic Chronic 1, H410; Acute Tox 4, H302	2.5~10%

- ・追加情報：リスト上の危険表現の単語は、セクション 16 を参照。

セクション 4：救急処置

4.1 救急処置の説明

- ・吸入後：新鮮な空気の供給；病状ある場合は、医師に相談。
- ・皮膚接触後：一般的に本品は、皮膚を刺激しない。
- ・目に入った後；数分間流れる水で目を洗い流す。
- ・飲んで後；症状があれば、医師に相談。

4.2 最も重要な症状と結果、深刻で遅いもの。

更に関連する情報はなし

4.3 即時の医療ケア、特別措置が必要な兆候

更に関連する情報はなし

セクション 5：消防対策

5.1 消火剤

- ・有効な消火剤：周辺環境に適した消火方法を適用する。
- ・本品及び混合物から発生する特殊な危険物 関連する情報なし。
- ・消防官へのアドバイス、防護装置：特別に要求される方法はない。

セクション 6： 偶発的放出の対策

6.1 個人的予防、防護装備と緊急処置 防護服の着用

6.2 環境的予防；

水路または下水管への漏出があった場合は、各所管へその旨連絡。大量の水で薄める。下水管、地表、地面への侵入を防ぐ。

6.3 格納と清掃のための方法と材料

水分を吸収する材料（砂、珪藻岩、酸結合剤、結合剤、おがくず）で吸引。

6.4 他の参照

安全取扱い情報の為、セクション 7 を参照。

個人用防護服の情報の為、セクション 8 を参照。

廃棄処理情報の為、セクション 13 を参照

セクション 7：取扱いと保存

7.1 安全な取扱いの為の注意 作業場所での良い空調装置を確保する。

- ・火及び爆発防止について：特別に必要とされる方法無し

7.2 安全保存の条件、不適合性などを含む。

- ・保存：
- ・保存室と容器への要件：特になし。
- ・一か所の同じ保管設備での保管：要求無し。
- ・保存条件に付いてその他の情報：無し。
- ・保存分類：10

7.3 特別の用途：特になし。

セクション 8：暴露管理/個人防衛

- ・技術的便宜、デザインについての追加情報：特に無し；7項を参照。

8.1 管理パラメーター

- ・現場においてモニターが必要な使用量制限のある成分：
本品は、作業場においてモニターが必要な重大な原料、材料を含まない。
- ・追加情報：生成中に有効なリストが基本として使用された。

8.2 暴露管理

- ・個人防護具：
- ・一般の防衛と衛生上の方法：作業終了時、休憩時に手の洗淨。
- ・呼吸関連の防衛：必要なし。
- ・手の防衛：
グローブの素材は、浸透せず、本製品、原料に対して耐性があること。
テスト不足もありグローブの原料についての推奨等は、無し。
浸透時間、拡散及び劣化度を考慮してのグローブ原料の選択。
グローブ原料の短期間の充填の場合、トリコットグローブが装着性の良さで推奨される。
- ・グローブ原料
適したグローブの選択は、原料のみによるのではなく、品質によるのであり各製造会社によっても様々である。
製品は、いくつかの原料の調合品でありその抵抗は、事前に算定することはできない、したがって適用前にチェックされる。
ニトリルゴム、NBR
- ・グローブ原料の浸透時間
正確な透過時間は、グローブの製造社によって見出され、観察されなければならない。
- ・目の防衛：補充の時には、ゴーグルの使用を推奨

セクション 9：物質、化学的特性

9.1 物質、化学的基本特性の情報

- ・一般情報
- ・外観
 - 形態：液体
 - 色：製品の仕様による
 - 匂い：製品仕様による
 - 匂い限界：未確定
- ・健康と環境の保全・安全についての情報
- ・pH値：未決定
- ・条件変更
 - 溶解点/氷結点：不確定
 - 初期沸騰点と沸騰域：82°C
- ・引火点：>113°C
- ・可燃性（液体、ガス）：非適用
- ・着火点：371°C
- ・自動着火温度：自己点火せず
- ・爆発性：未決定

- ・ 爆発限界：
 - 低値 : 2.6 Vol %
 - 高値 : 12.6 Vol %
- ・ 蒸気圧 (20°C) : 23 hPa
- ・ 20°Cでの密度 : 1 g/cm³
- ・ 相対密度 未決定
- ・ 蒸気密度 未決定
- ・ 蒸発率 未決定
- ・ 水との溶解度/混和性 完全な混和性
- ・ 分配係数 : n-オクタノール/水 : 未決定
- ・ 粘着性 :
 - 力学的 : 未決定
 - 運動学的 : 未決定
- ・ 溶媒容量：
 - 有機溶媒 : 36.0 %
 - 水 : 60.0 %
 - 固形分 : 4.0 %

9.2 その他情報

セクション 9.1 で提供された物質、化学特性は、おおまかなデータで、混合物の構成データから部分的に抽出されたものである。これらのデータは、製品仕様を規定するものではない。

セクション 10 : 安定性と反応性

10.1 反応性 記載以上の関連情報は、なし。

10.2 化学安定性

- ・ 温度分解性/避けるべき条件：
 - 仕様に一致して使用された場合、分解は無い。

10.3 危険性のある反応の可能性：危険な反応は認識されていない。

10.4 避けるべき状態 関連情報は無い。

10.5 配合禁止原料：関連情報は無い。

10.6 危険分解製品：危険な分解製品は、無い。

セクション 11 : 毒性資料

11.1 毒性効果についての情報

- ・ 急性毒性 有効なデータに基づいて、分類基準に適合しない。
- ・ 主要な刺激効果：
 - ・ 皮膚腐食/刺激 有効なデータに基づいて、分類基準に適合しない。
 - ・ 深刻な目へのダメージ/刺激 データに基づき、分類基準に適合しない。
 - ・ 呼吸または皮膚感作 有効なデータに基づき、分類基準に適合しない。
- ・ CMR 効果 (発がん性、変異原性、再生の為の毒性)
- ・ 胚細胞変異原性 有効なデータに基づき、分類基準に適合しない。
- ・ 発がん性 有効なデータに基づき、分類基準に適合しない。
- ・ 再生毒性 有効なデータに基づき、分類基準に適合しない。

- ・ 特定器官毒性（単回露出）データに基づき、分類基準に適合しない。
- ・ 特定器官毒性（複数露出）データに基づき、分類基準に適合しない。
- ・ 吸引の危険性 有効なデータに基づき、分類基準に適合しない。

セクション 12 : 生態学的情報

12.1 毒性

- ・ 水中毒性：更に有効な関連情報はない。

12.2 残留性と分解性 更に有効な関連情報はない。

12.3 生体内蓄積能 更に有効な関連情報はない。

12.4 土中流動性 更に有効な関連情報はない。

- ・ 生体毒性の影響：
- ・ 所見：魚には、有毒。
- ・ 追加の生態学的情報：
- ・ 一般的注釈：

水障害 3 分類（ドイツの規制）（自己判定）：水には非常に有害
商品が地下水、水脈、下水システムに少量でも届かないようにする。
僅かの量の地表への漏れも飲み水としては危険。
また水中の魚、プランクトンにたいしても有毒。
水性生物に対して有毒。

12.5 PBT 物質と vPvB 物質の評価結果

- ・ PBT：適用なし
- ・ vPvB：適用なし

12.6 その他の副作用：関連情報は、なし。

セクション 13：廃棄についての考慮

13.1 廃棄処分の方法

- ・ 推奨
家庭ゴミと一緒に廃棄しないこと。商品が下水システムに行かないこと。
- ・ 洗浄されていない包装：
- ・ 推奨：廃棄は、公式の規則に従ってなされること。
- ・ 推奨される洗浄剤：水、洗浄剤との併用が必要であれば。

セクション 14 : 運搬情報

14.1 UN 番号

- ・ ADR, IMDG, IATA UN3082

14.2 UN 適切な出荷名

- ・ ADR 3082 環境的に有害物質、液体、N.O.S.(トリアリルメタン色素、ヴァイオレット)
- ・ IMDG 環境的危険物質、液体、N.O.S. (トリアリルメタン色素、バイオレット)、海洋汚染
- ・ IATA 環境的危険物質、液体、N.O.S. (トリアリルメタン色素、バイオレット)

14.3 運搬危険分類

- ・ ADR
(図柄)

- ・ 分類 9 (M6) 多様な危険物質と品目
- ・ ラベル 9
- ・ IMDG, IATA
(図柄)
- ・ 分類 9 多様な危険物質と品目。
- ・ ラベル 9

14.4 包装グループ

- ・ ADR, IMDG, IATA III

14.5 環境的危険：

- ・ 海洋汚染： 該当 象徴（魚と木）
- ・ 特別マーク（ADR）： 象徴（魚と木）
- ・ 特別マーク（IATA）： 象徴（魚と木）

14.6 使用者の為の特別予防措置 警告：様々な危険物質と品目

- ・ 危険コード（Kemler）： 90
- ・ EMS 番号 : F-A, S-F
- ・ 保管分類 : A

14.7 Marpol Annex II と IBC コードに準拠した大量輸送 : 適用無し

- ・ 輸送/追加情報
- ・ ADR
- ・ 限定された量（LQ） 5L
- ・ 除外された量（EQ） コード： E1
内包装毎の最大内容量：30ml
外包装毎の最大内容量：1000ml

- ・ UN モデル規定： UN3082 環境危険物質、液体、N.O.S.（トリアリルメタン色素、バイオレット）、9、III

セクション 15 : 規制情報

15.1 安全性、健康、環境的規制/原料または配合の規格規定

- ・ 指令 2012/18/EU
- ・ 特定された危険物質—Annex 1 リストに記載された成分はなし。
- ・ Seveso 分類 E2 水性環境に対して有害。
- ・ 低レベル仕様への適用の場合、適切とされる量 200 トン
- ・ 高レベル仕様への適用の場合、適切とされる量 500 トン
- ・ 規定（EC）番号 1907/2006 Annex XVII 規制条件： 3
- ・ 国家規制 :
- ・ 技術指示（空気）：

分類	比率 (%)
NK	25 - 50

- ・ 水障害分 類：水障害分類 3（自己査定）：水には、非常に危険。

15.2 化学的安全査定：化学的安全査定は、実施されていない。

セクション16 : その他情報

本情報は、現時点での我々の知識に基づいたものである。しかしながらこれは、特定の商品の特性を構成、保証するものではなく、法的に有効性のある契約事項を構成するものではない。

・ 関連する表現

H225 可燃性の高い液体及び気体
H302 飲込んだ場合は、有害
H319 深刻な目の炎症を引き起こす
H336 眠気またはめまいを引き起こす可能性
H410 水性生物に対する長期的な有害影響

・ 略語及び頭文字

RID：鉄道による危険商品の国際間輸送に関する規則
IATA-DGR：IATA(国際空輸協会)による危険商品規則
ICAO：国際民間航空機関
ICAO-TI：国際民間航空機関による技術指示
ADR：国際間の危険商品の陸上輸送に関する欧州合意
IMDG：国際海上危険物規則
IATA：国際空輸協会
GHS：化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
EINECS：欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS：欧州届出化学物質リスト
CAS：化学情報検索サービス（米国化学協会の一部）
PBT：生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質
vPvB：極難分解性および猛毒性
Flam. Liq. 2：可燃性液体 — 分類2
Acute Tox. 4：急性毒性 — 分類4
Eye Irrit. 2：深刻な目へのダメージ/目の炎症 — 分類2
STOT SE 3：特定標的臓器毒性（単回暴露）3 — 分類3
Aquatic Chronic 1：水環境に有害—慢性水性毒性 — 分類1
Aquatic Chronic 2：水環境に有害—慢性水性毒性 — 分類2